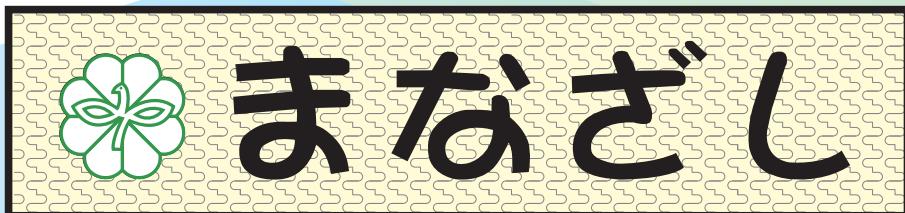




秦野市社会福祉協議会のHPから閲覧できます



秦野市民生委員児童委員協議会

【発行人】熊澤道子
【編集】広報部
【連絡先】〒257-0054
秦野市緑町16番3号
TEL 0463(84)7711

12月 民児委員の一斉改選

民生委員・児童委員は、地域に住む高齢者宅への訪問や、支援を求めている人へのサービスの紹介、地域活動への協力など幅広く活動を行っています。

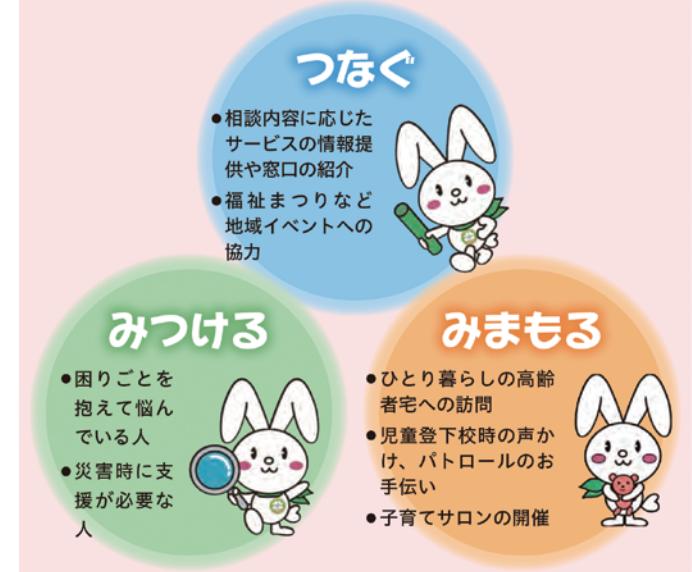


このような地域住民の安心・安全を支える民生委員ですが、現職の委員が今年11月30日に任期満了を迎えます。任期は3年です。継続される方も含めて候補者の選出活動が行われています。

民生委員は全国的に担い手不足が課題となっており、秦野市も例外ではありません。少子高齢化や核家族化など、地域のつながりが希薄になる中、民生委員の役割は今後ますます重要な役割となりますので、活動へのご理解とご協力をお願いします。

民生委員は児童委員も兼ねているので正式には「民生委員・児童委員」です。
略して、「民児委員」とも言います。

こんな活動、あんな活動しています



クイズde 知ろう！ 民生委員・児童委員

この機会にクイズを通して民生委員への理解を深めてみてください！

Q1 民生委員には定年がある？？

Q2 民生委員は創設100年越えである？？

Q3 次の中で、民生委員の役割はどれ？？

- ① 住民の相談に乗り、必要な支援につなぐ
- ② 生活に困ったとき、お金を貸してくれる
- ③ 騒音や草木をめぐる近隣トラブルの仲介

A1 ×：定年はありません

秦野市では30歳以上で、地域を応援したい方ならどなたでもOKです。

A2 ○：創設100年越えです

大正6年に岡山県で誕生した済世顧問制度が始まりで、平成29年（2017年）に創設100年を迎えるました。

A3 ①が正解です

住民の困りごとを聞いて、適切な専門機関に「つなぐ」ことが役割です。金銭に関わることや近隣トラブルの仲介はできません。



秦野市民児協総会を開催



秦野市民生委員児童委員協議会（熊澤道子会長）は、コロナ感染が落ち着いた5月20日（金）クアーズテック秦野カルチャーホールにて、市内の民生委員児童委員260名のうち248名出席のもと総会を開催した。コロナ禍の2年間は書面議決対応としていたことから総会は3年ぶりの開催。

高橋昌和秦野市長、高橋徹夫社会福祉協議会副会長を来賓に迎え、総会では令和3年度事業ならびに決算報告、令和4年度事業計画ならびに予算について協議し、決定した。

総会終了後、市地域共生推進課長奥津正徳氏を講師に招き、「事例に学ぶ地域共生支援センター



の取り組みについて」をテーマに令和3年度に新設した「地域共生支援センター」の支援事例について講義を受けた。

令和3年度の相談件数は254件で、相談状況は下表のとおり。

出席した委員は、地域住民に寄り添い身近な相談相手として、「みまもる」「みつける」「つなぐ」ことの大切さについて思いを新たにした。



講師の奥津正徳担当課長

相談の内容、経路、分野

内 容	相談経路	分 野
病 気	地域高齢者支援センター	高 齡
経済的困窮	高齢介護課	保健・医療
障がい（手帳有）	本 人	生活困窮
障がい（疑い）	民生委員	障がい
介 護	同居の家族	障がいの疑い

（上から相談件数の多い順）



広報部が勉強会を実施



7月14日（木）に広報部は自主参加という形でしたが、「より良い紙面作り」のために東海大学前駅近くにある株式会社タウンニュース社で勉強会を行いました。

タウンニュース社（前身）は、1977年に秦野市で創設されました。（現在本社は横浜にあります）その後1980年に現タウンニュース社が設立されました。当初は従業員5名、発行部数3万部でスタートしましたが、現在では160名の記者が活躍し、神奈川県内全域と東京都町田市や八王子市、多摩市など全43版に広がり、発行部数も187万部を超え、折込配布の他店舗・施設設置きになっています。

一人の記者が取材、写真撮影、広告営業も兼ねていて、取材から最短3日で掲載できるとのことでした。

秦野版は、毎週金曜日に新聞折り込みで各家庭に配布されている他、公民館・郵便局・店舗等に施設設置きとして配架されています。地域に密着した身近なニュースや価値ある情報を届け、地元の広報紙として人々に愛読されています。

勉強会では、須藤一成秦野編集室長より記事の書き方、校正の仕方、写真の撮り方、プライバシーへの配慮などについてお話をありました。記事を書く時の主なポイントとして

①要点は簡潔、手短に

5W1H（When,Where,Who,What,Why,How）

②結論は先に

③見出しが命

見出しだけで記事の内容が分かるようにし、文字数は多くても11文字まで、漢字だけにしない

④入念にチェック

記事の文字や名前、数字等に間違いがないよう複数の人でチェック

など具体的に教えていただきました。取材、編集における情報確認の大切さや分かりやすく伝える工夫を学ぶことができたことは大きな収穫でした。記事や紙面の作り方は、秦野民児協だより「まなざし」の編集に通ずるところがあり、とても勉強になりました。今回の貴重な学びをこれから活動に生かしていきたいと思います。



講師の須藤一成秦野編集室長

コロナ禍での活動を振り返って

令和元年度の一斉改選後、新たな一步を踏み出したところに、蔓延した新型コロナウイルス感染症は、民生委員・児童委員活動にも大きな影響を及ぼしました。

これまでの当たり前の活動が当たり前ではない状況の中で、顔を合わせて接する機会が減り、地域で生活する方々の実情が見えづらくなりましたが、「人と人のつながり」は途切れることがないよう、工夫と摸索を重ねながら、出来る範囲で活動することを心がけました。

訪問、相談、支援活動は、ポスティングや電話、手紙などで行い、会議や研修会は、オンラインの活用や広い会場で短時間で行うなど、コロナ禍にあって常に住民に寄り添い、地域の「身近な相談相手」となり「つなぎ役」となって活動を継続してまいりました。

困りごとを抱えた方が笑顔を取り戻された時は、民生委員・児童委員でなければ体験できない喜びを感じ、やりがいにもつながりました。

また、活動を通して紡がれた多くの方々との「つながり」は「大きな宝」あります。

民生委員・児童委員活動のスローガン「支えあう住みよい社会 地域から」のもと、持続可能な活動を展開し、歴史ある民生委員制度が次の世代に、しっかりと引き継がれますことを願っております。

秦野市民生委員児童委員協議会
会長 熊澤道子

私が民児委員になってしばらくしてコロナが流行し、訪問活動の縮小や制約がありました。高齢者の方の家や、名前、顔を覚える間もない頃のことでした。それでも日々の見守りは行わなくてはいけません。

私の担当する広畠の民児委員の仲間に、コロナ禍の中でどのように活動を行ってきたのか聞いてみました。

マスク越しに外で近況を聞く、電話での確認、電気、洗濯物などの安否確認、郵便受けのたまり具合の目視等をしているとのことでした。

中には、おたよりとしてチラシを作成し市内のコロナの感染状況や支援センターからの情報等を伝えている方もいました。

また見守りの中での事例では、コロナで自粛生活が続いた89歳の一人暮らしの女性が淋しさのあまりパニック障害を起こされたそうです。



個人発行のチラシ

民児委員が妹さん夫妻に連絡を取り、ご本人が妹さん夫妻宅に一週間ほど行かれたことで落ち着かれたというお話を伺いました。

民児委員の皆さんがコロナ禍を乗り切るためにいろいろと知恵を働かせ、工夫をして活動していることを実感すると共に、私も無理のない範囲で頑張ろうと思いました。

広畠地区民児協 高橋 恒子

彼らの仲間（第5回）

この欄では、特技や趣味などを持った民生委員・児童委員を紹介しています。

～太極拳を続けて～ 高石 保江さん（鶴巻地区民児協）

高石さんは民児委員1期目です。

太極拳は12年ほど前からはじめられました。

若いころからスポーツをされていましたが、あらたに運動を始めようと思われた時に、何事にも必死になる性格なので怪我が心配だったそうです。そんな時に出会ったのが太極拳。初めて体験した時に、温泉に入った後のように体の中がぽかぽかと温かく「とても気持ちがよい」と感じ、すぐに入会を決められたそうです。入会当初は週1回だった練習は、今ではなんと週5回と頑張っておられます。

太極拳を始めて、体を動かすことはもとより、先生のお話にも学ぶことが多かったそうです。お話しも自然にス~ッと入ってくるそうです。更に昔スポーツで腰を痛めて立っていることが辛かったのが「まずは姿勢良く、かかとに体重をかけること」を教わり実行すると、立っていることが苦にならなくなつたそうです。

数年前には2年続けて北京体育大学に10日間太極拳の研修に参加されました。とても有意義な時間を過ごされたそうです。写真の衣装や剣はその時に入手されたものです。3年目の北京訪問はコロナのため中止になりとても残念な思いをされました。

これから目標は「終わりのない太極拳を最後まで続けていくこと、そして1ミリでも前に進んでいくこと」だそうです。



インタビュー中、すごく熱く語られて太極拳への思いがひしひしと伝わってきました。

もしもの時の「見守りキーホルダー」

秦野市では外出先での急病、事故や認知症による徘徊などに対応するため、見守りキーホルダーを交付しています。

キーホルダーに記載されている番号で、本人に関する情報や緊急連絡先などを迅速に確認できるように工夫されています。

◆ 交付対象者と費用

65歳以上の方が対象で、初回の1個目は無料です。希望者には実費（250円）負担のうえ3個まで交付可能です。

◆ キーホルダーの記載内容

キーホルダー（右記現物写真参照）には、登録番号と、地域高齢者支援センター（休日・夜間は秦野警察署）の電話番号が記載されています。

※このキーホルダーによって個人情報を知られることはありません。

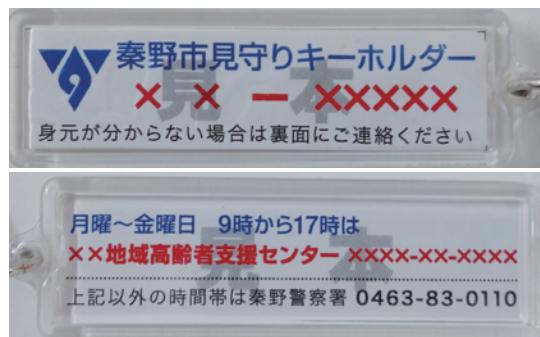
◆ 交付手続き

交付を受けたい高齢者は、お住まいの地域の高齢者支援センターへ連絡してください。

◆ キーホルダーで本人確認

キーホルダーを身に着けている高齢者が困っている姿を見かけたら、記載されている電話番号へ連絡をしてください。キーホルダーの登録番号で、身元確認や緊急連絡先（家族他）が確認できます。

※「見守りキーホルダー」の詳細を知りたい方は、お住まいの地域高齢者支援センター、秦野市役所高齢介護課に問い合わせてください。



キーホルダーの表（上）と裏（下）（実物大）

つるまきオレンジ搜索網」の活動

鶴巻地区では、LINEグループによる行方不明者緊急搜索ネットワーク「つるまきオレンジ搜索網」の活動を行っています。

数年前の鶴巻地区での行方不明者が、未だに発見されておりません。今後、ますます高齢化が進み、尋ね人の増加が予測されるため、その対応策の検討が必要となっていました。

そこで対応策の一つとして、鶴巻地域高齢者支援センター・鶴巻地区認知症サポーターが中心となって、鶴巻地区全域をカバーしスピーディーで効率的な



グループLINEのプロフィール画像

行方不明者搜索の仕組みとして、LINEグループ「つるまきオレンジ搜索網」を作りました。

メンバーは、鶴巻地域高齢者支援センター、認知症サポーターの他、鶴巻地区社協、自治会役員、民生委員児童委員など、現在50名が参加し、各々が自宅周辺を探せば鶴巻全体をカバー出来る人員配置となっています。

市から鶴巻地区の行方不明者発生の報があると、グループにLINEで連絡が飛び、それを機にメンバーが一斉に自分の地域を中心に搜索を開始します。搜索状況もLINEで報告しながら進めています。

迅速な搜索を行うことで、一刻も早い行方不明者の発見につながることを目指して、これからも活動を続けていきます。

約20年前に、長年、民生委員・児童委員を続けている方から「あなたのような人にやってもらいたい」と、言われました。当時、家事や子育て、仕事に忙しかった私は、とんでもない事を言う人だと驚きました。

年月を経て嵐のような日々から解放されて生活していたある日、夫に民生委員・児童委員をお願いする訪問がありました。夫は仕事が忙しく快諾できませんでした。その様子を見て「あなたのような人にやってもらいたい」と言う声が脳裏をよぎり、「私で良ければ引き受けます」と言ってしまいました。民生委員・児童委員の活動内容も知りませんでしたが、地域のお役に立ちたいと思ったのです。

編 集 後 記

私は現在2期目ですが、1期目と違い、2期目は新型コロナウイルスの影響で「うつらない、うつさない活動」になりました。1期目は、ひとり暮らし高齢者登録をしている方の訪問をしていました。それが電話での安否確認を中心になりました。

私は民生委員・児童委員を引き受けるまで地域のことをあまり知りませんでしたが、今では孤立する人がないように関係機関へのパイプ役として活動してきたことで地域の顔見知りも増えました。

今年は民生委員・児童委員の改選の年です。民生委員・児童委員活動に関心を持つ人が増えるよう願っています。

I.Maeda